



2021年2月2日

各位

会社名 東武鉄道株式会社
 代表者名 取締役社長 根津 嘉澄
 (コード番号 9001 東証第1部)
 問合せ先 財務部課長 野口 洋輔
 (TEL. 03 - 5962 - 2183)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年10月30日に公表した2021年3月期通期業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）について最近の業績動向等を精査した結果、予想が変動する見通しとなったため、業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 517,600	百万円 △12,900	百万円 △12,000	百万円 △21,200	円 銭 △101.62
今回修正予想（B）	492,200	△18,600	△17,100	△27,000	△129.42
増減額（B - A）	△25,400	△5,700	△5,100	△5,800	—
増減率（%）	△4.9	—	—	—	—
（参考）前期実績 （2020年3月期）	653,874	62,653	58,414	35,530	168.84

2 2021年3月期通期個別業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 171,300	百万円 9,500	百万円 4,800	百万円 △19,300	円 銭 △92.51
今回修正予想（B）	166,100	5,700	800	△21,800	△104.49
増減額（B - A）	△5,200	△3,800	△4,000	△2,500	—
増減率（%）	△3.0	△40.0	△83.3	—	—
（参考）前期実績 （2020年3月期）	232,788	47,979	41,980	27,071	128.64

3 修正の理由

今後の見通しにおける新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、2021年1月の緊急事態宣言等にもとづく社会的制限が1か月程度継続することを前提としております。当社グループの業績に与える影響については、各事業の特性を踏まえ緊急事態宣言の影響を織り込み、緊急事態宣言解除後には段階的に収束へ向かいながらも、新しい生活様式を踏まえた企業や個人の行動の変化による影響は当期末まで一定程度残るものと仮定し、業績予想を算定いたしました。

(1) 通期（連結）

GoToキャンペーンや出控え意識の緩和により、レジャー事業を中心に持ち直しの動きが見られたものの、年末の新型コロナウイルス感染症の再拡大や1月の緊急事態宣言による外出自粛やその後の出控え等の影響による鉄道やバス利用者の減少及び百貨店における客足の減少等を織り込んだことから、当社グループの業績について想定を下方修正いたしました。

(2) 通期（個別）

GoToキャンペーンや出控え意識の緩和により、鉄道事業において都内方面のお出かけ需要や日光・鬼怒川エリアの観光需要に持ち直しの動きが見られたものの、年末の新型コロナウイルス感染症の再拡大や1月の緊急事態宣言による外出自粛やその後の出控え等の影響に伴う鉄道利用者の減少やホテル稼働率の落ち込み等を織り込んだことから、当社の業績について想定を下方修正いたしました。

なお、業績予想の詳細につきましては、本日別途公表の「2021年3月期第3四半期決算短信」及び「2021年3月期第3四半期決算補足説明資料」をご覧ください。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により上記予想値と異なる可能性があります。

以 上